名古屋工業大学　　秀島栄三

（左）テラッセ納屋橋３階 川縁
（上）テラッセ納屋橋２階 テラス

再開発のまちづくりに終わりはない

再開発を行うと必然的にその空間を利用する主体が入れ替わり、周辺地域をよく知らない住民が増えます。事業は終了するとしても、まちは存在し続けます。

2017 年に納屋橋の南東にオープンした「テラッセ納屋橋」（納屋橋東第一種市街地再開発事業）では、地権者、店舗等を有する事業者らが「テラッセ納屋橋発展会」を設立し、テラスなどの公共的空間の利活用、貸出を通じて地域と連携し、納屋橋地域の創造的発展を目指しています。問題は、これからのまちづくりを誰が担うかということでした。マンション居住者による「住民交流会」とともに「川縁の会」がつくられました。川縁の会には、秀島が共同代表を務める任意団体「水辺とまちの入口研究所」とともに「シグマ開発計画研究所」「デザインラボクロス NAYABASHI」「ひらひら日本」「レトロ納屋橋まちづくりの会」「株式会社 ザ・ソーシャル」が参加し、テラッセ納屋橋３階にある８畳ほどのスペース「川縁」を利用し、毎月の定例会で議論を交わしながら、イベントを開催する、行政への要望をまとめるなど、まちづくり活動を進めています。

【所属機関・連絡先】
名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学系プログラム環境都市分野 秀島栄三
Tel：052－735－5586　E-mail：hideshima.eizo●nitech.ac.jp　※●は@に置き換えてください